



NO. 3 「統廃合による学校の活用」

今回は、学校の統廃合の現状、そしてその有効活用について考えてみたいと思います。

ご承知のように、日本は人口自然減の時代に突入しました。しかも全人口における児童生徒の割合は大きく減少し、少子高齢化の波にさらされています。昭和30年代の東部管内の小学校（分校）は100校を超えるほどでしたが、少子化等様々な要因の結果、半世紀の間に多くの学校が統廃合や休校になり、現在では管内46の小学校（分校）が存在しています。

中山間部等での学校の存続については、少人数での子どもの学びのメリットとデメリットを検討しつつ、地域振興の核としての学校の役割を改めて考える機会になっています。「教育効果」「相互理解」「将来の展望」などをキーワードに、説明会や懇談会等で丁寧に議論を交わしていく必要があるといえましょう。

さて、休廃校後の学校施設は今どのような活用をされているのでしょうか。今回は休廃校数も活用事例も多い小学校の施設の現状を市町村教育委員会等の協力をいただきながらまとめてみました。

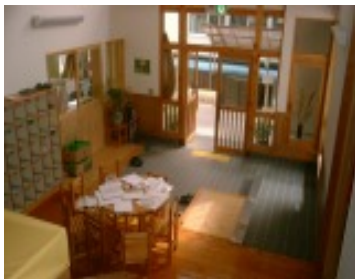
＜東部管内小学校休廃校後の施設状況（分校含 計76校） H19.10.1 現在＞

施設状況 市町村名	公民館・集会所・公会堂・社会福祉施設	社会体育・地区運動会	体験・宿泊施設	現存（一部・全部）するが活用なし	現存なし	その他（民間施設等）
東洋町：3				川口、生見、名留川		
室戸市：7	中の川	日南、椎名		段、中峯、河内	長者野	
奈半利町：1			米ヶ岡			
北川村：6	島、小島、木積			竹屋敷	久木、管の上	
安田町：2	小川	中山	小川			
安芸市：10	八ノ谷、畑山、上尾川		畑山	栃ノ木、古井正藤	安芸ノ川、大井、別役、籾内	
芸西村：6	西分、長谷寄		九重	白髪	和食、馬の上	西分
旧夜須町：3					羽尾、仲木屋、国光	
旧香我美町：8			北部（旧舞川小）		西川、撫川、奈良、東川、徳王寺、山南、香我美第一（旧山北小）	
旧野市町：2	富家				香宗	
旧土佐山田町：5	逆川		平山		明治	岩村、西又（不明）
旧香北町：9	清爪、河野、暁霞、谷相				永野、府内、岩改、西川、猪野々	
旧物部村：14	久保	別府			安丸、拓、河口、中津尾、笹、神池、明改、別役、桑ノ川、上岡	岡ノ内、五王堂

なお、訂正・追記などありましたら、お手数ですが東部教育事務所西岡（TEL: 0887-34-3591）までご連絡いただけたら幸いです。よろしくお願いいたします。

現存している学校施設のうち、何らかの形で施設を活用している学校の割合は約74%で、想像以上に有効利用されている実態がありました。また、現在休廃校措置となっている施設についても、今後新たな活用状況が生まれてくるかもしれません。次に、そのような中でも特色ある活用をしている施設を紹介します。

旧平山小学校 「ほっと平山」 ～2007. 7. 1 待望のオープン！～



地域の方々の参画によりオープンしたばかりの木の香る施設で、その名のお通り「ほっと」ひといき、心やすらぐ施設に生まれ変わりました。隣接のふれあい館では、陶芸体験などができ、眼下に広がるダム湖周辺の自然にもふれることができる宿泊施設です。
(ほっと平山 TEL: 0887-53-2076)

旧米ヶ岡分校 「生活体験学校」 ～子どもの歓声がこだまする学び舎～



この施設の特徴は、子ども対象に年間のべ30日を超える宿泊体験等を実施していることです。自炊・入浴・体験教室等を行い、明朝学校へ出発します。廃校後も元気な子どもたちの声がこだましています。各種団体へも研修等で幅広く活用されています。(奈半利町教育委員会 TEL: 0887-38-8188)

旧小川小学校 「せせらぎの郷小川」 ～地域の活力を活かした体験施設～



平成17年に地域の交流拠点・宿泊体験施設として生まれ変わった施設です。希望があれば田舎寿司やそば打ちなどの体験の他、川をせき止めた自然河川プールも利用できます。広々とした講堂ではコンサートや伝統芸能保存の場として活用されています。(安田町教育委員会 TEL: 0887-38-5711)

旧畑山小学校 「創作の里」 ～2万冊超の蔵書をほこる山の図書館～



全国から寄贈された本を教室ごと読書スペースとして展示した明るい雰囲気施設です。学校の校庭はキャンプ利用もでき、雨天時も広い体育館があるので安心です。隣接の畑山温泉と併せて利用する方も多しとお聞きしました。各種イベントも実施しています。
(はたやま温泉 TEL: 0887-34-8141)

旧西分小学校 「香南くろしお園分場・公民館」 ～授産施設と公民館～



旧校舎の西側は香南市岸本にある授産施設「香南くろしお園」の分場、そして東側を地区公民館として活用している同居型の施設です。くろしお園分場ではイベントのメダルや作物などを作成・販売したりして、活動を行っています。公民館は地区の研修や会議場の核として活用されています。(芸西村教育委員会 TEL: 0887-33-2400)

上記以外の施設でも、例えば旧岡の内小学校では縫製工場として地域の雇用を創出したり、旧富家小学校では講堂で伝統の凧作りを行ったり、また、旧九重小学校や旧北部小学校では宿泊施設・キャンプ場として活用されたりなど、市町村や地域独自の取組に目を見張られます。

それぞれの特徴ある取組のなかで共通していることは、地域住民の参画・協働のうえで運営を行ったり、地域の子どもが主人公となる取組を行ったりしていることです。まさに地域の活力をよみがえらせる取組の一端を担っているといえましょう。今後さらに減少傾向が続くと思われる学校施設ですが、今こそ地域ぐるみで学校の有り方を再考し、地域や学校の文化を次世代に伝えることが必要だと感じたことでした。